



ごあいさつ 今年梅雨入りが例年以上に遅くなり、昔に比べると季節の変動が激しいように感じます。暑い夏真っ盛りですが皆さまいかがお過ごしでしょうか。6月号ではお伝えできませんでしたが、去る5月25日(土)、26日(日)に三原市宮浦で開催された「さつき祭り」に、初めて企業展として出展させていただきました。 社長 小倉義春

さつき祭り

に参加しました!

当日は2日間とも晴天に恵まれ、お子さんから大人まで多くの方が来場され大盛況でした。このようなイベントに出展した事は、良い経験になり出会った方々からもパワーをいただきました。



左:専務 小倉一弥 中:オグ塚 右:大工のコウちゃん(笹尾幸一)



大工さんと一緒にチャレンジ!!

意外に簡単に出来た!!

と、みんな大喜び!!

1 カンナかけ体験!!



大工の★コウちゃん

小さいお子さんが引っぱりなしに「やりたーい!!」と来場されました☆



楽しい〜!



カンナがけしてるお兄ちゃん、まだかな...

大工の技術に触れて、楽しんでもらえたのがとても嬉しかったです。 By コウちゃん

2 組み立てられるかな?? これぞ匠の技!2本の木を1本に!

金輪継(かなわつぎ) 長さが足りない柱や梁をつなぐ、継ぎ手方法の一つです☆



トントン よいしょ!

おともう 少しい☆

「プラモデルみたいでおもしろーい!!」とお子さんたち真剣にかなづちトントンしてます☆



3代目専務の チョット

Before After

写真1

語らせてください!

カンナをかける前は表面が **ザラザラ** カンナをかけた後は **ツルツルピカピカ**

今回さつき祭りでご好評いただいた「カンナけずり」と「木材の継手方法」ですが『カンナがけは何の為にするんですか?』というご質問が多数いただきました。カンナがけは木材の表面を削ることで美しく仕上がります。日本建築の内装は木材を見せる仕上りなので、カンナがけは必須でした。(写真1)そして木材の継手方法は(写真2)のような場所にも活かされる技術です。家に付属する屋根の梁は長さが10m以上あり3本の木を継いでます。木材同士を金具で継ぐ方法もありますが(写真4)、金具がない方(写真3)が美しく見えると思いませんか?この継ぎ方は、ボンドも釘も使わず木材だけでつなぎ合わせています。最近はこのような加工が機械でされている木材が主流になっていますが、細かい作業とどんな現場にも応用できるのが**手作業**というものです。リフォームなど改修ではこの応用力がとても重要なんです。忘れ去られる日本の伝統技術やモノづくりの楽しさを感じてもらえるひと時であったなら幸いです。

写真2

写真3

写真4

写真5

へえ〜言われてみれば! 継いであったなんて気付かなかったわ〜。

1本の長い梁に見えますが、実は3本の梁を継いでます。

なんと 三原テレビから生放送で取材を受けました☆

このように、「さつき祭り」で盛り上がっていた最中に突然、三原テレビさんが「取材させて下さい(^_^)」と来られてビックリ!専務、生放送のテレビ出演は初体験でした。約4分間ですが、その時の様子を右のQRコードで見られます。ガチガチに緊張した専務を、ぜひ見てやってください☆

取材中の専務 肩にチカラ入りました(笑)

とても気さくだったパーソナリティの(左)原田さん、金田さんと一緒に記念撮影

一級建築設計事務所

OGURA (有)小倉建設

〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良 4015

TEL:0847-33-1566 FAX:0847-33-1588 E-mail:ogu-ogu@mail.mcat.ne.jp

ブログ 更新中!

三原市 3代目専務 検索

ホームページはこちら!

三原市 小倉建設 検索